

## ◆国語科◆

### 全校で取り組んできたこと（H30年度12月調査の分析・検討を受けて）

- ・「話すこと・聞くこと」においては話す内容を文字化することによって、内容の吟味をさせる。
- ・問題文を最後まで見落とさずに読み、線を引いたり○で囲んだりすることで、答える内容を的確に捉える習慣をつけさせる。
- ・週末課題として新聞のコラム「有明抄」の視写に取り組ませ、感想や要約などの「書く活動」などによって、「思考力」「読解力」「表現力」の向上につなげる。
- ・宿題と毎時間の漢字テスト・小テストを連動させ、言語事項の定着を図る。

### 4月データを分析して気付いた成果と課題

#### 《第8学年について》

成 果	課 題
<p><b>【国語科全体を通して】</b></p> <p>○前年度の課題であった「読む」領域は県平均を 8.0 ポイント上回る結果となった。文章をじっくり読み込み、考える場面を設定したうえで、グループで話し合い、考えを深めたり広げたりする活動や、要約などの「書く」活動で「読む」力も上がっていったと考えられる。</p> <p><b>【設問別の結果から】</b></p> <p>○活用力を問う問題での正答率が高く、話し合いやレポートにまとめるなど、言語活動に多くの時間を割いた成果が表れていると考えられる。特に「書く」活動に多く取り組んでおり、感想だけではなく、要約や新聞記事形式、レポート、手紙など多様な書く活動への取り組みが、他の領域への好影響を及ぼすと考えている。今後も、生徒が意欲的に書ける言語活動を工夫していきたい。</p> <p>○文学的文章では、「会話描写に注意して読みながら内容を理解し、自分の考えをもつ」問題において正答率が 10.3 ポイント上回っている。常日ごろの授業のなかでも、小説を読む際に会話と行動から人物像を考える指導を継続している結果だと思われる。</p>	<p><b>【国語科全体を通して】</b></p> <p>●ほぼすべての領域において県平均を上回ることができていたが、「漢字の読み」に関する設問の正答率が県平均よりも低かった。言語活動の時間確保のため、デジタル教科書の範読を利用し、生徒の音読の機会を減らしたことや、新出漢字に関する指導に十分な時間を取ることができていなかったことが反省点として挙げられる。</p> <p><b>【設問別の結果から】</b></p> <p>●「書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にする」問題の正答率が低い。話し言葉になっているものを書き言葉に直す問題だったが、話し言葉と書き言葉の区別が曖昧なためだと考えられる。作文などでも、「なので」を接続詞として使っていたり、ら抜き言葉を使っていたり話し言葉と書き言葉の違いを意識していない生徒が多くいる。こまめに添削指導し、しっかり区別させていきたい。</p> <p>●「表現の特徴」については、内容理解に時間を割き、授業のなかでじっくり取り組めていなかった。</p> <p>●知識問題については、小テストやプリントなどでは概ね理解できていたものの、漢字の読み以外にも、特に文節の区切りや歴史的仮名遣いなどは正答率が低かった。定着を図るため、復習にも力をいれていく必要があった。</p>

## ◆数学科◆

### 全校で取り組んできたこと（H30年度12月調査の分析・検討を受けて）

- ・自分の考えを書き表し、友だちに説明するコミュニケーション活動を随時設定し、活用する力と考えを伝える力を身につけさせる。
- ・日々の授業で、小テストを実施し、自己評価をさせながら、数式の計算技能の向上を図る。
- ・学習に対する良い習慣を確立させるとともに、理解が十分ではない生徒には個別指導の機会をできるだけ設定し、生徒の意欲を高める。

### 4月データを分析して気付いた成果と課題

#### 《第8学年について》

成 果	課 題
<p>[数学科全体を通して]</p> <p>○教科全体の正答率は、県と同程度である。7年時4月－1ポイント、12月－3.4ポイントであったが、今回は－0.4ポイントとわずかではあるが、上がっている。到達基準「十分達成」を基準としたときの本校正答率も（7年時4月）0.82→（7年時12月）0.81→（8年時4月）0.83となった。</p> <p>[設問別の結果から]</p> <p>○「数と式」は県と同程度である。14の設問中、半数の7問で期待正答率を十分達成している。特に『事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明する問題』は、県平均を26.3ポイント大きく上回った。その他『計算』『式の値を求める』『比例式を解く』『問題場面における考察の対象を明確に捉える』で期待正答率を十分達成した。</p> <p>○「図形」は県と同程度である。『点対称な図形をかく』『円錐の展開図』『空間における直線と直線の位置関係（ねじれの位置）』の3問（8問中）が期待正答率を十分達成している。</p> <p>○「関数」は県を3.4ポイント上回っている。期待正答率を十分達成した設問はないが、5問中4問は県平均を上回っている。</p> <p>○「資料の活用」は県と同程度である。『ヒストグラムから度数を読み取る問題』が期待正答率を十分達成し</p>	<p>[数学科全体を通して]</p> <p>●無解答率が県平均を上回る。観点別では、「考え方」は県平均を3.7ポイント上回るが、到達基準は下回っている。「活用に関する問題」では、県平均を4.1ポイント上回るが、到達基準は下回っている。</p> <p>[設問別の結果から]</p> <p>●「数と式」では、『分数をふくむ一元一次方程式を解く問題』は5.5ポイント、『具体的な事象における数量の関係を捉え、一元一次方程式をつくる問題』は8.8ポイント、『与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現する問題』は1.8ポイント平均を下回っている。</p> <p>●「図形」では、『柱体の側面積を求める問題』は3.3ポイント、『錐体の体積を求める問題』は6.1ポイント県平均を下回っている。</p> <p>●「関数」では、『反比例の関係を表すグラフの特徴の理解』は5.3ポイント県平均を下回っている。</p> <p>●「資料の活用」では、『範囲を求める問題』は8.3ポイント、『代表値を基に、資料の傾向を捉え、判断の理</p>

ている。『相対度数を求める問題』と『有効数字の問題』は県平均を上回っている。

由を数学的な表現を用いて説明する問題』は 1.1 ポイント県平均を下回っている。

## ◆意識◆

### 全校で取り組んできたこと（H30年度12月調査の分析・検討を受けて）

- ・家庭教育指針に基づいた学年に応じた家庭学習時間の確保。
- ・授業と連動した学習課題を効果的に出す。
- ・生徒の読書量を増やす取組の強化。
- ・インターネットやスマートフォンの使用について各家庭で約束事を決め、家庭学習時間を確保させる。
- ・SNSの利用について、生徒や保護者への啓発活動。

### 4月データを分析して気付いた成果と課題

#### 《第8学年について》

成 果	課 題
<p>○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だと思う生徒の割合が高い傾向にある。</p> <p>(問)友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だと思う。</p> <p>「そう思う」14.3%(県)→15.9%(本校)</p> <p>「どちらかといえば、そう思う」30.8%(県)→40.9%(本校)</p>	<p>●将来の夢や目標をもっている生徒の割合がやや低い傾向にある。</p> <p>(問)将来の夢や目標をもっている。</p> <p>「当てはまる」43.8%(県)→25.0%(本校)</p> <p>「どちらかといえば当てはまる。」28.8%(県)→47.7%(本校)</p>
<p>○授業の構造化が図られており、ノートの取り方の改善がなされている。</p> <p>(問)授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていると思う。</p> <p>「そう思う」54.8%(県)→63.6%(本校)</p> <p>「どちらかといえば、そう思う」31.1%(県)→29.5%(本校)</p>	<p>●就寝時刻の遅い生徒の割合が高い傾向にある。</p> <p>(問)普段(月曜日から金曜日)、何時ごろ寝ますか。</p> <p>「午後11時以降」45.2%(県)→59.1%(本校)</p>
<p>○「総合的な学習」のねらいを意識し、意欲的に取り組む生徒が増えてきている。</p> <p>「当てはまる」44.7%(県)→52.3%(本校)</p> <p>「どちらかといえば当てはまる。」41.2%(県)→40.9%(本校)</p>	<p>●携帯電話やスマートフォンの使い方について家の人と約束を守っている生徒の割合が低い傾向にある。</p> <p>(問)携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束を守っていますか。</p> <p>「きちんと守っている」29.9%(県)→27.3%(本校)</p> <p>「だいたい守っている」25.9%(県)→13.6%(本校)</p>
<p>○普段、1日当たり、携帯電話やスマートフォン等で通話やメール等をする時間が短い傾向にある。</p> <p>(問)普段、1日あたり、どれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。</p> <p>「2時間以上」24.7%(県)→20.5%(本校)</p>	<p>●テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている生徒の割合が低い傾向にある。</p> <p>(問)テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか。</p> <p>「している」24.0%(県)→16.3%(本校)</p> <p>「どちらかといえば、している」21.9%(県)→16.3%(本校)</p>
<p>○地域の行事に積極的に参加している生徒の割合が高い傾向にある。</p> <p>(問)今住んでいる地域の行事に参加している。</p> <p>「当てはまる」26.8%(県)→34.1%(本校)</p> <p>「どちらかといえば、当てはまる」29.2%(県)→31.8%(本校)</p>	